

# ITスキル標準V2

## 2部:キャリア編

独立行政法人 情報処理推進機構  
ITスキル標準センター

経済産業省



## 目次

はじめに .....	1
<b>1 . 職種と専門分野 .....</b>	<b>2</b>
1 . 1 キャリアフレームワーク .....	2
1 . 2 IT投資局面と職種の関係 .....	4
1 . 3 職種の概要 .....	6
( 1 ) 職種の概要の記述内容 .....	6
( 2 ) 職種の概要の記述様式 .....	6
1 . 4 職種と役割について .....	6
<b>2 . 達成度指標 .....</b>	<b>8</b>
2 . 1 ビジネス貢献 .....	8
( 1 ) ビジネス貢献の記述内容 .....	8
( 2 ) ビジネス貢献の記述様式 .....	9
2 . 2 プロフェッショナル貢献 .....	11
( 1 ) プロフェッショナル貢献の記述内容 .....	11
( 2 ) プロフェッショナル貢献の記述様式 .....	12
<b>ITスキル標準 ( 職種の概要と達成度指標 ) .....</b>	<b>14</b>
<b>補足A . 職種の説明一覧 .....</b>	<b>17</b>
<b>補足B . 達成度指標の規定内容一覧 .....</b>	<b>18</b>
B . 1 マーケティング .....	18
B . 2 セールス .....	20
B . 3 コンサルタント .....	24
B . 4 ITアーキテクト .....	30
B . 5 プロジェクトマネジメント .....	32
B . 6 ITスペシャリスト .....	34
B . 7 アプリケーションスペシャリスト .....	38
B . 8 ソフトウェア開発 .....	40
B . 9 カスタマサービス .....	42
B . 10 オペレーション .....	48
B . 11 エデュケーション .....	52



## はじめに

「2部:キャリア編」では、ITスキル標準の構成要素である「キャリアフレームワーク」、「職種の概要」、「達成度指標」を収めている。

IT人材のレベル評価は、経験と実績に基づく「達成度指標」によって行うのがITスキル標準の特色である。キャリア編で定義したのは、プロフェッショナル人材の評価を行うための指標であり、育成においては中長期のキャリア開発を行うための目標となるキャリアを示す指標である。

「2部:キャリア編」の全体構成は、図1のとおりである。

1. 職種と専門分野										
2. 達成度指標										
ITスキル標準(職種の概要、達成度指標)										
マーケティング	セールス	コンサルタント	ITアーキテクト	プロジェクトマネジメント	ITスペシャリスト	アプリケーションスペシャリスト	ソフトウェア開発/ロジック	カスタマサービス	オペレーション	エデュケーション

図1 . 「2部:キャリア編」の全体構成

### 改訂履歴

- 平成18年4月1日 初版作成

## 1. 職種と専門分野

ベルを表現しているものではないことに注意が必要である。

### 1.1 キャリアフレームワーク<sup>1</sup>

キャリアフレームワークは、情報サービスに関わる国際的な類似のフレームワークを参考としつつ、横軸に職種区分、縦軸にレベル設定をおいた様式を採用している。

ITスキル標準では、職種を「コンサルタント」や「プロジェクトマネジメント」、「ITスペシャリスト」など11に分類し、職種ごとに全部で35の専門分野を設けている。

このフレームワークの横軸となる職種については、各職種における業務を実行するために必要なスキルの違いやサービス工程の違いを重視し区分を設定している。

また、それぞれの専門分野に対応して、各個人の能力や実績に基づく7段階の達成度レベルを規定している。キャリアフレームワーク上で色の付いている部分がその職種と専門分野である。一方で色の付いてない空白の部分は、市場において当該レベルが想定されていないことを示している。

ITスキル標準で表しているのは、あくまでも、プロフェッショナルとしての実務能力のレベルである。職種と専門分野が異なってもレベルが同じであれば、活動領域や成果物の違いはあれ、実務能力のレベルとしては同等である。なお、ITスキル標準におけるレベルは、人事制度における役職のレ

---

<sup>1</sup> ITスキル標準V2改訂に際し、図の名称を「スキルフレームワーク」から「キャリアフレームワーク」に変更した。

職種		マーケティング			セールス			コンサルタント			ITアーキテクト			プロジェクトマネジメント			ITスペシャリスト							アプリケーションスペシャリスト			ソフトウェア開発			カスタマサービス			オペレーション			エデュケーション																																																																				
専門分野		マーケティングマネジメント			販売チャネル戦略			マーケティングコミュニケーション			訪問型コンサルティングセールス			訪問型製品セールス			メディア利用型セールス			B-T (Business Transformation)			IT			パッケージ適用			アプリケーションアーキテクト			インテグレーションアーキテクト			インフラストラクチャアーキテクト			システム開発			ITアウトソーシング			ネットワークサービス			ソフトウェア製品開発			プラットフォーム			システム管理			データベース			ネットワーク			分散コンピューティング			セキュリティ			業務システム			業務パッケージ			基本ソフト			ミドルソフト			応用ソフト			ハードウェア			ソフトウェア			ファシリティマネジメント			システムオペレーション			ネットワークオペレーション			サービスデスク			研修企画		インストラクション	
ハイレベル	レベル7																																																																																																							
	レベル6																																																																																																							
	レベル5																																																																																																							
ミドルレベル	レベル4																																																																																																							
	レベル3																																																																																																							
エントリーレベル	レベル2																																																																																																							
	レベル1																																																																																																							

図2 . キャリアフレームワーク

## 1.2 IT投資局面と職種の関係

IT投資のプロセスに焦点をあて、ITスキル標準で設定する各職種の主要な活動を各フェーズに対応させる形で例示したのが図3である。

例えば、戦略的情報化企画というIT投資の局面には、「課題の整理/分析」という活動領域がある。この活動領域において、ビジネス課題の整理とソリューションの提案を行うのが「セールス」、ソリューション策定のための助言を行うのが「コンサルタント」、ソリューションの枠組みを策定するのが「ITアーキテクト」ということになる。

なお、情報サービス企業としての事業戦略を策定するためのマーケティング、ソフトウェア製品を開発するソフトウェア開発、ITスキル標準が対象とするプロフェッショナルを育成するための研修サービスを担うエデュケーションは、IT投資局面に沿っては活動しないため、この図の中に盛り込んでいない。

今日の、情報サービスにおけるビジネス構造の多様化に伴い、個別企業のビジネス戦略に応じて各職種がIT投資局面で持つ価値の領域も変化する。したがって個々の企業における価値創造の活動に応じて、IT投資局面を拡張することも考えられる。



IT投資の局面 と活動領域  職種	経営戦略策定		戦略的情報化企画		開発		運用・保守	
	経営目標 / ビジョン策定	ビジネス 戦略策定	課題 整理 / 分析 (ビジネス/IT)	ソリューション 設計 (構造/パターン)	コンポネ ント 設計 (システム/業務)	ソリューション 構築 (開発/実装)	ソリューション 運用 (システム/業務)	ソリューション 保守 (システム/業務)
セールス	目標/ビジョン の確認	ビジネス 戦略の確認	ビジネス課題 ソリューション提案					
コンサルタント	目標/ビジョン の提言	ビジネス戦略 策定の助言	ソリューション 策定のための 助言	ソリューション の設計				
IT アーキテクト			ソリューション の枠組み策定	ソリューション アーキテク チャーの設計	コンポネ ントの 設計	ソリューション の構築		
プロジェクト マネジメント			プロジェクト基 本計画の策定	プロジェクトの 管理/統制	プロジェクトの 管理/統制	プロジェクトの 管理/統制	プロジェクトの 管理/統制	プロジェクトの 管理/統制
IT スペシャリスト				システム構築 計画の策定	システム・コン ポネントの設計	システム・コン ポネントの導入 構築	システム・コン ポネントの運用 支援	システム・コン ポネントの保守
アプリケーション スペシャリスト				アプリケーション 開発計画の策定	アプリケーション コンポネ ントの設計	アプリケーション コンポネ ントの 開発	アプリケーション コンポネ ント の運用支援	アプリケーション コンポネ ント の保守
カスタマ サービス					導入計画 の策定	ハードウェア ソフトウェア の導入	ハードウェア ソフトウェア の保守	ハードウェア ソフトウェア の保守
オペレーション						運用計画/ 運用管理 の策定	システムの 運用と管理	システムの 運用と管理

 主たる活動局面

 従たる活動局面

図3. IT投資局面と職種

### 1.3 職種の概要

#### (1) 職種の概要の記述内容

職種の概要では、職種と専門分野の対応するレベルの範囲と、各々の内容を説明している。

職種	プロジェクトマネジメント			
専門分野	システム開発	ITアウトソーシング	ネットワークサービス	ソフトウェア製品開発
レベル7	■	■	■	■
レベル6	■	■	■	■
レベル5	■	■	■	■
レベル4	■	■	■	■
レベル3	■	■	■	■
レベル2	■	■	■	■
レベル1	■	■	■	■

**職種の説明**

プロジェクトマネジメント技術、ビジネスマネジメント技術を活用し、プロジェクトの提案、立上げ、計画、実行、監視、コントロール、締結を実施し、計画された納期、サービスと、その要求品質、コスト、納期に責任を持つ。

IT投資の局面においては、戦略的情報化企画(課題整理、分析ビジネス、IT)、ソリューション設計(調達、パターン)、開発(ソフトウェア設計のシステム、業務)、ソリューション構築(開発、実装)及び運用、保守ソリューションの運用(システム、業務)、ソリューション(保守)システム、業務を主な活動領域として以下を実施する。

- 戦略的情報化企画
- 情報化企画(ITアウトソーシング、ソフトウェア製品開発専門分野)、プロジェクト計画の策定
- 開発
- プロジェクトの管理、統制
- 運用、保守
- プロジェクトの管理、統制

当該職種は、以下の専門分野に区分される。

- **システム開発**  
ITシステムの提案、開発、保守に関するプロジェクトマネジメントを行う(ITシステムとして要求される機能を実現するためのソフトウェアを開発し、エビデンス及びネットワーク環境を構築する。インターネットテクノロジーを使用したものを含む)。
- **ITアウトソーシング**  
顧客の経営戦略を受けて、外部組織としてITシステムの企画、構築、保守、システム運用、サポート運用、業務運用に関するプロジェクトマネジメントを行う。
- **ネットワークサービス**  
データ(LAN/WAN)、画像、映像等の通信環境の設計、導入及び管理に関するプロジェクトマネジメントを行う。
- **ソフトウェア製品開発**  
不特定多数のユーザを対象としたソフトウェア製品の企画、設計、開発、改良及び保守に関するプロジェクトマネジメントを行う。

図4. 職種と専門分野の例(プロジェクトマネジメント)

#### (2) 職種の概要の記述様式

職種の説明をわかりやすくするため、各職種が責任を持つ成果物とその品質に関する記述を追加した。この結果、全体としては当該職種が活用する技術項目、活動プロセスの局面、および責任を持つべき成果物とその品質についての記述を盛り込んだ様式になっている。

#### 【記述様式】

「<活用技術>を活用し、<活動プロセス>を実施し、<成果物>およびその<品質>に責任を持つ」

- ・活用技術：責務を果たすために主として必要とする技術要素
- ・活動プロセス：主として活動する局面
- ・成果物：活動の結果、主として出力される成果
- ・品質：成果に対して主として求められる品質要件

### 1.4 職種と役割について

ITスキル標準は、IT投資局面と主たる活動領域の違いにより職種を分類している。IT投資局面は、全プロセスを通じて一つの成果をあげるためのモデルであり、プロジェクトの大小を問わず、ITプロジェクトにおいて成果物を作成するためには、IT投資局面で定義した全アクティビティを実施することが必要である。つまり、ITスキル標準の定義に基づき、主たる活動領域の職種、専門分野ごとに担当者を割り当てるならば、各担当者が協業してプロジェクトを遂行することとなる。

ところが実際のプロジェクト遂行にあたっては、様々な制約により、各個人が複数の役割をこなす場合が一般的である。この場合には、企業がITスキル標準を参照して企業固有の指標を作成する際に、自社における一定の役割や職務をモデル化し、それぞれのモデルに求められるスキルを導き出して人材像を定義するといったアプローチを採用する。完成するのは、人材像として複数の職種/専門分野をまたがる役割を持つモデルである。ただし、このときも成果物を作成するためのアクティビティ自体に変わりはない。違いは、各社の事情に合わせて、特定職種以外の責務も兼務していることだけで

ある。

プロフェッショナル人材に期待されていることは、高度な専門性による責務遂行である。自分の専門領域においては必ず成功裡に目標を達成しなければならない。したがって、プロジェクト制約等により他職種の専門領域を分担しなければならない場合、専門領域以外の責務を果たさなければならない場合のリスクを考慮しながらプロジェクト体制を構築すべきである。

ITスキル標準は、育成のためのモデルともいえる。個人の長期的なキャリアとして、どの職種に軸足をおいて成長していくかを見極めることが重要になる。各社の役割を反映した企業固有の人材像は、企業の事業戦略や教育機関の教育方針に従って、柔軟に作られるべきものである。

## 2. 達成度指標

達成度指標は実務能力のレベル評価指標として定義したものである。IT人材のレベル評価は、あくまでも経験と実績に基づく「達成度指標」によって行うのがITスキル標準の特色である。

達成度指標は、ビジネスを成功させる人材を評価する2つの貢献に焦点をあてている。第一はプロジェクトの成功の経験と実績など、ビジネス成果に対する貢献を示す「ビジネス貢献」、第二は専門技術の向上による社内外への貢献、さらに後進育成や技術の継承といったプロフェッショナルとしての貢献を示す「プロフェッショナル貢献」である。

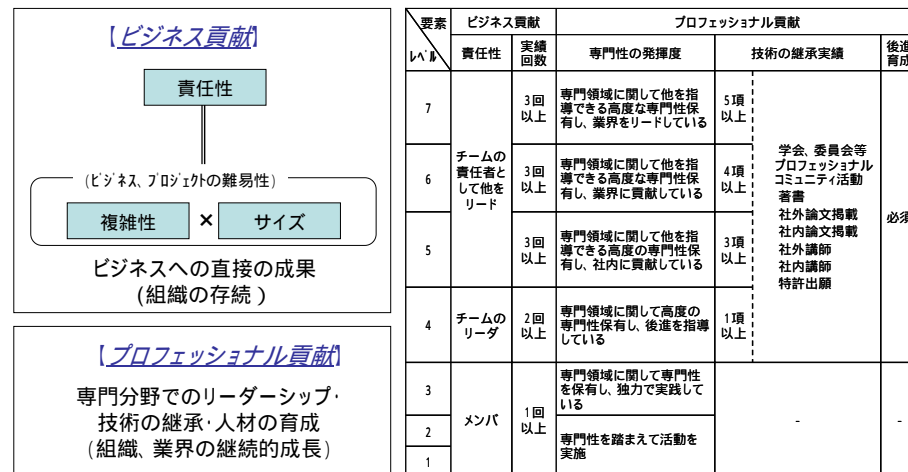


図5. 達成度指標の構造

ITスキル標準では、ビジネス貢献だけでなく継続的なプロフェッショナル貢献も重要視している。どちらかの基準だけで人材を評価するのではなく、中長期にわたる企業や個人の成長、企業の存続という側面から評価するとい

う考え方に基づいているためである。したがってIT人材は、ビジネス貢献、およびプロフェッショナル貢献という達成度指標で定められた基準を同時に満たしていることが必要となる。

なお、達成度指標で各レベルに記載されている定義は、当該レベルへのエントリー基準という位置づけにある。これを踏まえて、各レベルの評価に必要なビジネスの実績回数、技術継承の項目数等のしきい値を設定している。

### 2.1 ビジネス貢献

#### (1) ビジネス貢献の記述内容

ビジネス貢献は、担当したプロジェクトにおける責任の重さを示す「責任性」、担当したプロジェクトの難易度を表す「複雑性」、および「サイズ」という3つで評価する。次図は、プロジェクトマネジメントという職種の、システム開発という専門分野、レベル7を対象にした達成度指標の例である。

専門分野	システム開発	レベル7
<p><b>【ビジネス貢献】</b></p> <p>●<b>責任性</b></p> <p>プロジェクトの提案、立上げ、計画策定、実行、監査コントロール、終結の全プロセスにおけるプロジェクト全体の責任者として、ステークホルダーをマネジメントし、プロジェクトメンバーをリードして、計画された納入物やサービスの要求品質、コスト、納期を3回以上(内1回はレベル7、他はレベル6以上の複雑性、サイズ相当)成功計画で達成した経験と実績を有する。</p> <p>●<b>複雑性</b></p> <p>以下の3項目以上の条件に該当するプロジェクトを成功計画で遂行した経験と実績を有する(世界的にも先進的なプロジェクトは必須)。</p> <p><input type="checkbox"/> 国際的なプロジェクト(文化的、社会的並びに、国境、政治的に厳しい環境)      <input type="checkbox"/> 世界的にも先進的なプロジェクト      <input type="checkbox"/> 複雑な移行要件</p> <p><input type="checkbox"/> 複雑な契約条件(要求品質、コスト、納期の厳し、車検案件等)      <input type="checkbox"/> 複雑なシステム構築要件(パフォーマンス、セキュリティ、稼働運用要件等)</p> <p><input type="checkbox"/> 複雑なシステムデザイン(マルチプラットフォーム、高可用性、新規製品や技術、インタフェースの厳及条件) →      <input type="checkbox"/> 複雑なアプリケーション要件</p> <p><input type="checkbox"/> 複雑なプロジェクト体制(顧客、サブコントラクト、オフショア、協業関係、関係部門) → →</p> <p>●<b>サイズ</b></p> <p>以下のいずれかの規模に該当するプロジェクトを成功計画で実施した経験と実績を有する。</p> <p><input type="checkbox"/> 管理する要員数がピーク時500人以上または年間総額が金額10億円以上</p> <p><input type="checkbox"/> 管理する要員数がピーク時50人以上500人未満または年間総額が金額1億円以上10億円未満で、上記の複雑性の条件の5項目以上は該当</p> <p><b>【プロフェッショナル貢献】</b></p> <p>以下のプロジェクトマネジメント領域のいずれかについて他を指導することができる高度な専門性習得あり、業界をリードしている。</p> <p>プロジェクト統合マネジメント → → → プロジェクト・スコープ・マネジメント → → → プロジェクト・タイム・マネジメント</p> <p>プロジェクト・コスト・マネジメント → → → プロジェクト品質マネジメント → → → プロジェクト人的資源マネジメント</p> <p>プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント → → → プロジェクト・リスク・マネジメント → → → プロジェクト調達マネジメント</p> <p>→ 技術の進歩に合わせ、次の5項目以上の実績を有する</p> <p><input type="checkbox"/> 学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動      <input type="checkbox"/> 寄書      <input type="checkbox"/> 社外論文掲載</p> <p><input type="checkbox"/> 社内論文掲載      <input type="checkbox"/> 社内講師      <input type="checkbox"/> 社内講師      <input type="checkbox"/> 特許出願</p> <p>→ 価値の育成(メンタリング、コーチング等)の実績を有する</p>		

図6 . 達成度指標の例(プロジェクトマネジメント)

### 責任性

顧客に対する責任の重さを表す要素である。プロジェクト全体の責任者として、サブプロジェクトの責任者として、あるいはメンバとして対応したかによって責任の重さが違う。その対応すべき立場の責任性をレベルごとに設定している。

### 複雑性

プロジェクトの難易度を表す要素である。新規性、ミッションクリティカル性、国際的認知性等の難易度をレベルごとに設定している。

### サイズ

プロジェクトの規模を表す要素である。プロジェクト規模(例:必要とする要員の数が10人か50人か100人か?)あるいはビジネス規模(例:

必要とされる予算金額が1億円か、10億円か、50億円か?)をレベルごとに明示している。

実際にIT人材のレベルを評価する際には、これらの指標を組み合わせることで判断することになる。つまり、ビジネス貢献に包含される責任性、複雑性及びサイズの各項目については、達成すべきビジネス成果やプロジェクトの難易度を、新規性と国際的認知性及び社会的影響度を示す“複雑性”、規模を示す“サイズ”で設定する。このため、サイズが比較的小さくても複雑性が高ければ、難易度の高いビジネス成果やプロジェクトと同等に評価される要件を併記している。さらに、この難易度に対する達成度指標を個人の“責任性”の観点と合わせて評価するという関係になる。

仮にプロジェクト全体の責任者として業務を遂行しても、プロジェクトの規模、複雑性(プロジェクトの難易度)によりレベルは上下する。そこで指標を組み合わせることで、例えば、中規模プロジェクトのプロジェクト責任者という観点から評価するとレベル5であるが、通常よりも複雑性の高い業務を成功裡に達成したのでレベル6の基準を満たしているといった評価が可能になる。

## (2) ビジネス貢献の記述様式

### 責任性

複数の指標から総合的に判断される。複数の指標とは、上司やプロジェクトメンバ等から受ける支援の程度、または自立の程度、目標やプロセスへの権限、成果と評価への関連(直接または間接など)、組織目標への貢献度などである。責任性には、活動する局面とその立場・役割、評価対象と

達成回数を記述する。

【記述様式】

「 <活動局面> の局面における <役割> として <責任範囲> をリードする。 <品質条件> を <実績回数> 以上成功裡に達成した経験と実績を有する。」

- ・活動局面：主として活動する局面
- ・役割：活動局面において果たすべき責務
- ・責任範囲：責務を及ぼす範囲。配下のチームなど
- ・品質条件：要求される品質要件
- ・実績回数：成功裡に達成すべき経験・実績の回数

レベルごとに果たすべき役割は基本的に次のように規定している。

レベル	役割	備考
レベル7	チームの責任者として 他をリードする	自専門分野のみならず職種 全体が責任対象となる
レベル6		
レベル5		
レベル4	チームのリーダー	自専門分野の範囲が責任対 象となる
レベル3	メンバ	-
レベル2		
レベル1		

ただしプロジェクトマネジメントにおいては、当職種自体の責任性が高いことを示すためレベル4も責任者としている。

また、実績回数をレベルごとに数値で明示し、判断基準を統一している。

レベルごとの実績回数は次のとおりである。

レベル	実績回数	備考
レベル7	3回	内1回以上はレベル7、他はレベ ル6以上の複雑性、サイズ相当
レベル6	3回	内1回以上はレベル6、他はレベ ル5以上の複雑性、サイズ相当
レベル5	3回	内1回以上はレベル5、他はレベ ル4以上の複雑性、サイズ相当
レベル4	2回	他はレベル3以上の複雑性、サイ ズ相当
レベル3	1回以上	当該レベルの複雑性、サイズ相当
レベル2		
レベル1		

レベルごとの指標は当該レベルで評価されるための最低要件（エントリ基準）である。したがって各レベルの難易度条件でのビジネス実績は1回以上としている。（実績回数n回（内1回以上は当該レベル、他は直下のレベル以上の複雑性、サイズ相当））

レベル4は偶然性を排除するため2回以上、レベル5以上はさらに確実性を求めて3回以上とした。

複雑性

知識やスキルの必要の程度、判断要件の含有度、目標やプロセスの固有度、規格や折衝などの要素の割合などから総合的に判断される。

複雑性は、職種ごとに複雑性要因として挙げられる項目を列挙し、必要項目数を明示している。

レベル	当該レベルで規定しているサイズ要件の場合	当該レベルより1レベル下のレベルで規定されているサイズ要件の場合
レベル7	3項目以上	5項目以上
レベル6以下	2項目以上	4項目以上

ただしプロジェクトマネジメントのようにレベル2、1がない職種のレベル3は「いずれかの」とした。

複雑性要件として列挙する各々の項目については、職種・専門分野ごとに複雑性を表す表現で定義している。

なお、レベル7のみ複雑性要件として「国際的」という条件を必須としている。レベル7は、市場全体からみても先進的なサービスの開拓や、市場化をリードした経験と実績を有すると認められるレベルと定義しており、国内のみならず海外にも認められるような実績が必要であることを意味している。これは、日本国内での実績であっても、前例のないものや、国際的にも通用するものを評価するという趣旨であり、単に海外で実施した成果だけを評価するわけではない。

### サイズ

サイズは、職務として担うタスクやプロジェクトの範囲であり、ステークホルダーの数、工程数、プロジェクト年数、資金や受注金額などを指標として総合的に判断される。サイズ指標の対象とする範囲がプロジェクトの全体なのか、各職種が責任を負う成果を作り上げるチームなのかを明確化して示している。

また、当該レベルで規定されるサイズ要件に加えて、複雑性要件が高難易度の場合に該当するサイズ要件を併記している。ただし、下位レベルでサイズを不問にしている場合などは、例外として当該レベルで規定されているサイズ要件だけを記している。

## 2.2 プロフェッショナル貢献

### (1) プロフェッショナル貢献の記述内容

プロフェッショナル貢献は、将来に向けた発展の礎となる専門技術の向上や普及に代表される専門価値の創造と技術の継承、後進育成に関する貢献活動を評価する。プロフェッショナルとしての人材の価値の底上げを図り、プロフェッショナル育成に対する社会的な関心をより高めていく観点から、技術の創造及び継承、後進の育成についての指標を定義している。

全職種の上位レベルでは、プロフェッショナル貢献の中で、後進育成や社内外でのコミュニティ活動、論文執筆及び講演活動などのプロフェッショナル貢献活動を設定している。スキルを育成していくためには、単なる社内の上司・部下や先輩・後輩の関係だけではなく、プロフェッショナルとして同一職種での上位レベル・下位レベルの関係でスキルの伝承を行っていくことが必要である。また、高度なレベルの人材には会社の枠を超えてプロフェッショナルが集まるコミュニティでの活動や論文、講演など、スキルに裏打ちされた知見の伝承による貢献が求められる。そのようなプロフェッショナルとしての活動を行っていくこと自体が自らのスキルを磨くことにもなり、また、自らが持つ高度なスキルに対する社会的評価を得ることにもつながるのである。

## (2) プロフェッショナル貢献の記述様式

技術者の保有する専門性と貢献範囲、技術継承の実績、および後進の育成に関する視点で構成している。

## 保有する専門性と貢献範囲

各専門分野ごとの主要テーマを例示し、それらの専門性の影響度合をレベルごとに定義している。

## 【記述様式】

<レベル7～レベル3>

「- 以下の<主要テーマ>について<貢献>している」

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

} (職種・専門分野ごとに主要テーマを列挙)

<レベル2、レベル1>

「- 以下の<主要テーマ>について基本的な知識と経験を有する」

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

} (職種・専門分野ごとに主要テーマを列挙)

- ・ 主要テーマ：職種専門分野ごとに専門性を表す
- ・ 貢献：専門性の保有度とそれを発揮する範囲を規定

レベルごとの専門性保有度、貢献範囲は次のように規定している。(レベル3以上に該当)

レベル	専門性保有度	貢献範囲
レベル7	他を指導することができる高度な専門性を保有	業界をリード
レベル6		業界に貢献
レベル5		社内に貢献
レベル4	高度な専門性を保有	後進を指導
レベル3	専門性を保有	独力で実践

## 技術の継承

全職種共通で、技術継承実績項目を箇条書きで例示し、レベルごとに必要実績数を明記している。

## 【記述様式】

「- 技術の継承に対して次の<n>項目以上の実績を有する」

学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動

著書

社外論文掲載

社内論文掲載

社外講師

社内講師

特許出願



項目数 n は次のとおりに規定している。

レベル	必要実績数
レベル7	5項目以上
レベル6	4項目以上
レベル5	3項目以上
レベル4	1項目以上
レベル3	該当せず(なし)
レベル2	
レベル1	

#### 後進の育成

全職種共通で、各専門分野のレベル4以上に「後進の育成(メンタリング、コーチング等)を必須としている。

## ITスキル標準（職種の概要と達成度指標）

- (1) マーケティング
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/01\\_MK\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/01_MK_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/01\\_MK\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/01_MK_Career_V2.pdf)
- (2) セールス
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/02\\_Sales\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/02_Sales_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/02\\_Sales\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/02_Sales_Career_V2.pdf)
- (3) コンサルタント
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/03\\_CONS\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/03_CONS_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/03\\_CONS\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/03_CONS_Career_V2.pdf)
- (4) ITアーキテクト
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/04\\_ITA\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/04_ITA_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/04\\_ITA\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/04_ITA_Career_V2.pdf)
- (5) プロジェクトマネジメント
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/05\\_PM\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/05_PM_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/05\\_PM\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/05_PM_Career_V2.pdf)
- (6) ITスペシャリスト
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/06\\_ITS\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/06_ITS_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/06\\_ITS\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/06_ITS_Career_V2.pdf)
- (7) アプリケーションスペシャリスト
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/07\\_APS\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/07_APS_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/07\\_APS\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/07_APS_Career_V2.pdf)
- (8) ソフトウェア開発
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/08\\_SWDev\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/08_SWDev_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/08\\_SWDev\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/08_SWDev_Career_V2.pdf)
- (9) カスタマサービス
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/09\\_CS\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/09_CS_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/09\\_CS\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/09_CS_Career_V2.pdf)
- (10) オペレーション
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/10\\_OP\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/10_OP_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/10\\_OP\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/10_OP_Career_V2.pdf)
- (11) エデュケーション
  - MSWord ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/11\\_ED\\_Career\\_V2.doc](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/11_ED_Career_V2.doc)
  - PDF ファイル形式 : [http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/11\\_ED\\_Career\\_V2.pdf](http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/V2data/11_ED_Career_V2.pdf)

## 補 足

補足A．職種の説明 一覧

補足B．達成度指標の規定内容一覧



## 補足A．職種の説明一覧

ITスキル標準で定義している各職種の説明を次表に示す。各職種が社会的なプロフェッショナルとして確立していくことを狙う観点から、当該職種に求められる成果と品質について定義している。

職種	概要
マーケティング	顧客ニーズに対応するために、企業、事業、製品及びサービスの市場の動向を予測かつ分析し、事業戦略、販売戦略、実行計画、資金計画及び販売チャンネル戦略等ビジネス戦略の企画及び立案を実施する。市場分析等をつうじて立案したビジネス戦略の投資効果、新規性、顧客満足度に責任を持つ。
セールス	顧客における経営方針を確認し、その実現のための課題解決策の提案、ビジネスプロセス改善支援及びソリューション、製品、サービスの提案を実施し成約する。 顧客との良好なリレーションを確立し顧客満足度を高める。
コンサルタント	知的資産、コンサルティングメソドロジーを活用し、顧客の経営戦略やビジネス戦略及びIT戦略策定へのコンサルティング、提言、助言の実施を通じて、顧客のビジネス戦略やビジョンの実現、課題解決に貢献する。 提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性等に責任を持つ。
ITアーキテクト	ビジネス及びIT上の課題を分析し、ソリューションを構成する情報システム化要件として再構成する。ハードウェア、ソフトウェア関連技術（アプリケーション関連技術、メソドロジー）を活用し、顧客のビジネス戦略を実現するために情報システム全体の品質（整合性、一貫性等）を保ったITアーキテクトチャを設計する。設計したアーキテクトチャが課題に対するソリューションを構成することを確認するとともに、後続の開発、導入が可能であることを確認する。また、ソリューションを構成するために情報システムが満たすべき基準を明らかにする。さらに実現性に対する技術リスクについて事前に影響を評価する。
プロジェクトマネジメント	プロジェクトマネジメント関連技術、ビジネスマネジメント技術を活用し、プロジェクトの提案、立上げ、計画、実行、監視コントロール、終結を実施し、計画された納入物、サービスと、その要求品質、コスト、納期に責任を持つ。 IT投資の局面においては、戦略的情報化企画（課題整理、分析（ビジネス、IT）、ソリューション設計（構造、パターン））、開発（コンポーネント設計（システム、業務）、ソリューション構築（開発、実装））及び運用、保守（ソリューション運用（システム、業務）、ソリューション保守（システム、業務））を主な活動領域として以下を実施する。
ITスペシャリスト	ハードウェア、ソフトウェア関連の専門技術を活用し、顧客の環境に最適なシステム基盤の設計、構築、導入を実施する。 構築したシステム基盤の非機能要件（性能、回復性、可用性など）に責任を持つ。
アプリケーションスペシャリスト	業種固有業務、汎用業務、アプリケーション開発に関する専門技術を活用し、業務上の課題解決に係わるアプリケーションの設計、開発、構築、導入、テスト及び保守を実施する。構築したアプリケーションの品質（機能性、回復性、利便性等）に責任を持つ。 IT投資の局面においては、開発（コンポーネント設計（業務）、ソリューション構築（開発、実装））及び運用、保守（ソリューション運用（業務）、ソリューション保守（業務））を主な活動領域として以下を実施する
ソフトウェアデベロップメント	ソフトウェアエンジニアリング技術を活用し、マーケティング戦略に基づく、市場に受け入れられるソフトウェア製品の企画、仕様決定、設計、開発を実施する。 また上位レベルにおいては、ソフトウェア製品に関連したビジネス戦略の立案やコンサルテーションを実施する。開発したソフトウェア製品の機能性、信頼性等に責任を持つ。
カスタマサービス	ハードウェア、ソフトウェア、施設に関連する専門技術を活用し、顧客の設備に合致したハードウェアの導入、ソフトウェアの導入、カスタマイズ、保守および修理を実施するとともに遠隔保守を実施する。さらにIT技術を利用するための施設建設をサポートする。 導入したハードウェア、ソフトウェアの品質（使用性、保守容易性等）に責任を持つ。
オペレーション	システム運用管理に関する専門技術を活用し、システム全体の安全稼動を実現するために、サービスレベルの維持、向上を図るとともにシステム稼動情報の収集と分析を実施し、システム基盤管理も含めた運用管理を行う。 システムの安定稼動（安全性、効率性、顧客満足度等）に責任を持つ。
エデュケーション	担当分野の専門技術と研修に関連する専門技術を活用し、ユーザのスキル開発要件に合致した研修カリキュラムや研修コースのニーズの分析、設計、開発、運営、評価を実施する。

## 補足B．達成度指標の規定内容一覧

## B．1 マーケティング

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献)

レベル	ビジネス貢献										
	活動局面	役割・責任範囲	責任性			実績回数	複雑性		サイズ ( )		
			品質条件		必要条 件数		複雑性要件				
マーケティング マネジメント	販売チャネル戦 略	マーケットコミ ュニケーション									
7	顧客ニーズに 対応した、企 業、事業、製 品及びサービ スの市場動向 の予測、分析、 事業戦略、販 売戦略、実行 計画、資金計 画等ビジネス 戦略の企画及 び立案におい て	マーケティング マネジメント、販 売チャネル、コミ ュニケーション の責任者として マーケティング メンバをリード	投資効果、新規 性、顧客満足度を 満足する市場動 向の予測、分析、 事業戦略、販売戦 略、実行計画、資 金計画等ビジネ ス戦略の企画及 び立案			3回以上(内1回以上はレベ ル7、他はレベル6以上の複 雑性、サイズ相当)成功裡に 遂行した経験と実績を有する	国際的なマーケティング(文化的、社 会的並びに、国際的、政治的に厳しい 環境) 世界的にも先進的なマーケティング 複雑な競合関係環境 市場変化の激しい環境 多様な顧客ニーズ環境 新規市場 新規製品群、サービス群 顧客維持型、顧客開拓型マーケティ ングの混在環境 複雑な戦略、手段が必要とされるマー ケットコミュニケーション	3項目 以上	業界トッ プ		
6						投資効果、新規 性、顧客満足度を 満足する販売チャ ネル戦略の企画 及び立案		投資効果、新規 性、顧客満足度を 満足するプロモ ーション戦略の企 画及び立案	3回以上(内1回以上はレベ ル6、他はレベル5以上の複 雑性、サイズ相当)成功裡に 遂行した経験と実績を有する	2項目 以上	業界トッ プ10
5									2項目 以上	社内トッ プ	
4			リーダとしてマ ーケティングメ ンバをリード	投資効果、新規 性、顧客満足度を 満足する販売チャ ネル戦略の企画 及び立案	投資効果、新規 性、顧客満足度を 満足するプロモ ーション戦略の企 画及び立案	2回以上(レベル4以上の複 雑性、サイズ相当)成功裡に 遂行した経験と実績を有する		4項目 以上	社内トッ プ10		
3			マーケットコミ ュニケーション のメンバとして			1回以上(レベル3以上の複 雑性、サイズ相当)成功裡に 遂行した経験と実績を有する		いずれ かの	特定せず		

( サイズは、それぞれのマーケットシェアの製品またはサービスに該当するマーケティング)

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献)

プロフェッショナル貢献							
レベル	専門分野別主要テーマ			貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
	マーケティングマネジメント	販売チャネル戦略	マーケットコミュニケーション		活動分野	必要条件数	
7	市場機会の分析 ターゲット市場の調査と選択 マーケティング戦略の構築 マーケティング・プログラムの立案 マーケティング計画の実行と管理			他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界をリードしている	学会、委員会等 プロフェッショナル コミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	5項目以上	必須
6				他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している		4項目以上	必須
5				他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4				高度な専門性を保有し、後進を指導している		1項目以上	必須
3				専門性を保有し、独力で実践している。		-	-

## B.2 セールス

達成度指標のレベル記述(ビジネス貢献): 訪問型コンサルティングセールス

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	(成約プロジェクトのピーク要員数、または契約金額)
7	特定インダストリ全体または特定サブインダストリ3種以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動	セールス責任者としてセールス活動全体を通じてセールsteamをリードする	新規プロジェクト案件を発掘、提案、成約と求められる要求品質、コスト、納期の達成	3回以上(内1回以上はレベル7、他はレベル6以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	顧客独自の高難度、複雑な個別要件複雑、例外的な契約条件業種横断的又は企業群を対象先進的、戦略的ビジネス領域あるいは製品、サービス、ITソリューション複数企業で構成されるセールsteam非常に厳しい競合状況複雑なプロジェクト体制新規リファレンスとなる案件  レベル7のみ(必須): 国際的にみても先進的なプロジェクト	3項目以上	500人以上のプロジェクトまたは年間契約金額10億円以上
				5項目以上		50人以上500人未満または年間契約金額5億円以上10億円未満	
6	従業員数5,000人以上の企業1社以上または特定サブインダストリ全体あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動			3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	50人以上500人未満または年間契約金額5億円以上10億円未満
				4項目以上		10人以上50人未満または年間契約金額1億円以上5億円未満	
5	従業員数3,000人以上の企業3社以上または従業員数1,000人以上3,000人未満の企業、部門、事業所5社(箇所)以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動			3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	10人以上50人未満または年間契約金額1億円以上5億円未満
				4項目以上		10人未満または年間契約金額1億円未満	
4	従業員数1,000人以上3,000人未満の企業、部門、事業所1社(箇所)以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動			2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満
3	従業員数300人以上1,000人未満の企業、部門、事業所1社(箇所)以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動	2回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満			



## 達成度指標のレベル記述(ビジネス貢献): 訪問型製品セールス

		ビジネス貢献					
		責任性			複雑性		サイズ
レベル	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	(成約プロジェクトのピーク要員数、または契約金額)
6	特定インダストリ全体または特定サブインダストリ3種以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動			3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	50人以上500人未満または年間契約金額5億円以上10億円未満
						4項目以上	10人以上50人未満または年間契約金額1億円以上5億円未満
5	従業員数5,000人以上の企業1社以上または特定サブインダストリ全体あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動	セールス責任者としてセールス活動全体を通じて担当製品、サービス、ソリューションのセールスをリードする	新規プロジェクト案件を発掘、提案、成約と求められる要求品質、コスト、納期の達成	3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	顧客独自の高難度、複雑な個別要件複雑、例外的な契約条件業種横断的又は企業群を対象先進的、戦略的ビジネス領域あるいは製品、サービス、ITソリューション複数企業で構成されるセールsteam非常に厳しい競争状況複雑なプロジェクト体制新規リファレンスとなる案件	2項目以上	10人以上50人未満または年間契約金額1億円以上5億円未満
						4項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満
4	従業員数3,000人以上の企業3社以上または従業員数1,000人以上3,000人未満の企業、部門、事業所5社(箇所)以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動			2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満
3	従業員数1,000人以上3,000人未満の企業、部門、事業所1社(箇所)以上あるいは同等の市場セグメントにおけるセールス活動			2回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満

## 達成度指標のレベル記述(ビジネス貢献):メディア利用型セールス

レベル	ビジネス貢献						
	責任性			実績回数		複雑性	
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件		複雑性要件	必要条件数	(成約プロジェクトのピーク要員数、または契約金額)
5	特定インダストリ全体または特定製品群、サービス群全体あるいは同等の市場セグメント	セールス責任者としてメディア型セールス戦略全体に責任を持つ	新規プロジェクト案件を発掘、提案、成約と求められる要求品質、コスト、納期の達成	3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	顧客独自の高難度、複雑な個別要件 複雑、例外的な契約条件 業種横断的又は企業群を対象 先進的、戦略的ビジネス領域あるいは製品、サービス、ITソリューション 非常に厳しい競合状況 複数のITソリューション及びサービスコンポーネントを含む 新規リファレンスとなる案件	2項目以上	10人以上50人未満または年間契約金額1億円以上5億円未満
4	特定サブインダストリ全体、または特定製品やサービス全体、あるいは同等の市場セグメント			2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満
3	特定サブインダストリの一部、または特定製品やサービスの一部、あるいは同等の市場セグメント			2回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	10人未満または年間契約金額1億円未満

## 達成度指標のレベル記述(ビジネス貢献):共通

レベル	ビジネス貢献						
	責任性			実績回数		複雑性	
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件		複雑性要件	必要条件数	
2	セールス活動における提案、成約、遂行の一連の局面	セールsteamメンバーとして実施責任を持ち、同一職種の上位者の指導の下	同一職種の上位者の指導の下にセールス活動	1回以上(レベル2の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	複数のITソリューション及びサービスコンポーネントを含む 複数カテゴリのIT職種で構成されるプロジェクトチーム編成が必要 標準的な契約条件 標準的な要件	幾つか	特定せず
1	セールス活動における提案、成約、遂行のいずれか局面			1回以上(レベル1の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する			

## 達成度指標のレベル記述(プロフェッショナル貢献)

レベル	プロフェッショナル貢献				
	主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
7	新規市場創出、新規顧客開拓 顧客リレーションシップ セールスチーム編成 ビジネスオポチュニティ把握 競争力向上戦略立案 顧客満足度向上 ITソリューション提案 市場満足度管理 メディア型セールス追加項目： メディアの特性の理解と活用 セールスメディアを通じたコミュニケーション、ネゴシエーション	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界をリードしている	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	5項目以上	必須
6		他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している		4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している		1項目以上	-
3		専門性を保有し、独力で実践している	-	-	-
2		基本的な知識と経験を有する	-	-	-
1					

## B.3 コンサルタント

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「BT (Business Transformation)」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
7	経営戦略策定及び戦略的情報化企画の局面における	業務改革 (Business Transformation) コンサルティングプロジェクト全体の責任者	コンサルティングチームをリードし、提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性、新規性等	3回以上(内1回以上はレベル7、他はレベル6以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	国際的に見て先進的な事例であり、業界や市場として最初の取り組みである(必須) コンサルティングプロジェクトが複雑な組織で構成されている 複数のコンサルティングメソドロジを組み合わせる必要がある 多くの事業(利用者や組織)に対して大きな影響を与える ビジネス上のリスクが高い契約条件 変革の度合いが大きい	3項目以上	年間売上金額2億円以上または、5名以上のコンサルティングチームを複数運営
				5項目以上		年間売上金額1億円以上または、3名以上のコンサルティングチームを複数運営	
6				3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	年間売上金額1億円以上または、3名以上のコンサルティングチームを複数運営
		4項目以上	年間売上金額3千万円以上または、単独または2名以上のコンサルティングチームを複数運営				
5		3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上	年間売上金額3千万円以上または、単独または2名以上のコンサルティングチームを複数運営			
				4項目以上	年間売上金額1千万円以上または、2名以上のコンサルティングチームを運営		
4	2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上	年間売上金額1千万円以上または、単独または2名以上のコンサルティングチームの運営				

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「BT (Business Transformation)」

プロフェッショナル貢献					
レベル	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
7	経営戦略、事業戦略及び事業環境に関する高度な専門的見識 コンサルティング事業戦略策定 コンサルティングビジネスの提案活動 顧客満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界をリードしている	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	5項目以上	必須
6		他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している		4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している		1項目以上	必須

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「IT」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
7	経営戦略策定及び戦略的情報化企画の局面における	情報技術(IT)の戦略的活用に関するコンサルティングプロジェクト全体の責任者	コンサルティングチームをリードし、提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性、新規性等	3回以上(内1回以上はレベル7、他はレベル6以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	国際的に見て先進的な事例であり、業界や市場として最初の取り組みである(必須) コンサルティングプロジェクトが複雑な組織で構成されている 複数のコンサルティングメソドロジを組み合わせる必要がある 多くの事業(利用者や組織)に対して大きな影響を与える ビジネス上のリスクが高い契約条件 変革の度合いが大きい	3項目以上	年間売上金額2億円以上または、5名以上のコンサルティングチームを複数運営
				5項目以上		年間売上金額1億円以上または、3名以上のコンサルティングチームを複数運営	
6		情報技術(IT)の戦略的活用に関するコンサルティングプロジェクトのリーダー	コンサルティングチームをリードし、提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性等	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	先進的な事例であり、業界や市場として最初の取り組みである コンサルティングプロジェクトが複雑な組織で構成されている 複数のコンサルティングメソドロジを組み合わせる必要がある 多くの事業(利用者や組織)に対して大きな影響を与える ビジネス上のリスクが高い契約条件 変革の度合いが大きい	2項目以上	年間売上金額1億円以上または、3名以上のコンサルティングチームを複数運営
4項目以上				年間売上金額3千万円以上または、単独または2名以上のコンサルティングチームを複数運営			
5	情報技術(IT)の戦略的活用に関するコンサルティングプロジェクトのリーダー	コンサルティングチームをリードし、提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性等	3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上		2項目以上	年間売上金額3千万円以上または、単独または2名以上のコンサルティングチームを複数運営
4項目以上			年間売上金額1千万円以上または、2名以上のコンサルティングチームを運営				
4	情報技術(IT)の戦略的活用に関するコンサルティングプロジェクトのリーダー	コンサルティングチームをリードし、提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性等	2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上	2項目以上	年間売上金額1千万円以上または、単独または2名以上のコンサルティングチームの運営	

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「IT」

プロフェッショナル貢献					
レベル	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
7	IT戦略、IT業務、IT技術、IT管理に関する高度な専門的見識 コンサルティング事業戦略策定 コンサルティングビジネスの提案活動 顧客満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界をリードしている	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	5項目以上	必須
6		他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している		4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している		1項目以上	必須

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「パッケージ適用」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性			複雑性			サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
6	経営戦略策定及び戦略的情報化企画の局面における	パッケージ適用に関するコンサルティングプロジェクト全体の責任者	コンサルティングチームをリードし、提言がもたらす価値や効果、顧客満足度、実現可能性等	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	先進的な事例であり、業界や市場として最初の取り組みである コンサルティングプロジェクトが複雑な組織で構成されている 複数のコンサルティングメソドロジーを組み合わせる必要がある 多くの事業(利用者や組織)に対して大きな影響を与える ビジネス上のリスクが高い契約条件 変革の度合いが大きい	2項目以上	年間売上金額3億円以上または、10名以上のコンサルティングチームを複数運営
				4項目以上		年間売上金額1億円以上または、5名以上のコンサルティングチームを複数運営	
5				パッケージ適用に関するコンサルティングプロジェクト全体の責任者		3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上
		4項目以上				年間売上金額3千万円以上または、3名以上のコンサルティングチームの運営	
4		パッケージ適用に関するコンサルティングプロジェクトのリーダー		2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	年間売上金額3千万円以上または、3名以上のコンサルティングチームの運営



## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「パッケージ適用」

プロフェッショナル貢献					
レベル	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
6	業務プロセス、パッケージに関する高度な専門的見識 コンサルティング事業戦略策定	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書	4項目以上	必須
5	コンサルティングビジネスの提案活動 顧客満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している	社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師	3項目以上	必須
4	業務プロセス、パッケージに関する高度な専門的見識 コンサルティング事業戦略策定 コンサルティングビジネスの提案活動	高度な専門性を保有し、後進を指導している	社内講師 特許出願	1項目以上	必須

## B.4 ITアーキテクト

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献)

レベル	ビジネス貢献								
	活動局面	役割・責任範囲	責任性			実績内容	複雑性		サイズ ( )
			品質条件				複雑性要件	必要条件数	
アプリケーションアーキテクチャ	インテグレーションアーキテクチャ	インフラストラクチャアーキテクチャ							
7	ソリューションの枠組み策定、ソリューションアーキテクチャー設計の局面における	技術責任者として他のITアーキテクトをリードする	要求された品質(機能性、信頼性、移植性等)を満足する情報システム全体のITアーキテクチャー設計			3回以上(内1回以上はレベル7、他はレベル6以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	国際的にも通用する特性をもつアーキテクチャ (レベル7のみ必須、レベル6から4は記載せず)	3項目以上	500人以上
6			3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	機能性要求に対して高度な設計が必要 信頼性要求に対して高度な設計が必要 使用性要求に対して高度な設計が必要 効率性要求に対して高度な設計が必要 保守性要求に対して高度な設計が必要 移植性要求に対して高度な設計が必要	2項目以上	50人以上 500人未満			
5			3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	上記要求間に複雑な依存関係が存在し、最適化された設計が必要 コンポーネントおよびコンポーネント間のインターフェースの数が多くシステム構造が複雑	2項目以上	10人以上 50人未満			
4		技術責任者として	要求された品質(機能性、信頼性、移植性等)を満足するアプリケーション領域のITアーキテクチャー設計	要求された品質(機能性、信頼性、移植性等)を満足するインテグレーション領域のITアーキテクチャー設計	要求された品質(機能性、信頼性、移植性等)を満足するインフラストラクチャ領域のITアーキテクチャー設計	2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	トラフィック量またはデータ量が多くデータの制御および管理技術が高度一般化された技術で解決できない要求に対して先進的で使用実績の少ない技術を適用	2項目以上	10人未満

( サイズは、ピーク時に定義された要員数で構成されるプロジェクトにて適用されるアーキテクチャーのサイズ)

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献)

プロフェッショナル貢献							
レベル	専門分野別主要テーマ			貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
	アプリケーション アーキテクチャ	インテグレーション アーキテクチャ	インフラストラクチャ アーキテクチャ		活動分野	必要条件数	
7	要求モデリング アーキテクチャ設計	要求モデリング アーキテクチャ設計	要求モデリング アーキテクチャ設計	他を指導することができる高度な 専門性を保有し、業界をリードして いる	学会、委員会等 プロフェッショナル コミュニティ活動	5項目以上	必須
6	ユーザビリティ 機能性	フレームワーク インタオペラビリティ	システムマネジメント セキュリティ	他を指導することができる高度な 専門性を保有し、業界に貢献してい る			
5	データ 標準化と再利用	標準化と再利用 アーキテクチャの評価	ネットワーク プラットフォーム	他を指導することができる高度な 専門性を保有し、社内貢献してい る	社内論文掲載 社外講師	3項目以上	必須
4	アーキテクチャの評価		標準化と再利用 アーキテクチャの評価	高度な専門性を保有し、後進を指導 している	社内講師 特許出願	1項目以上	必須

## B.5 プロジェクトマネジメント

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献)

レベル	ビジネス貢献									
	活動局面	役割・責任範囲	責任性				実績回数	複雑性		サイズ
			品質条件					複雑性要件	必要条件数	
システム開発	ITアウトソーシング	ネットワークサービス	ソフトウェア製品開発							
7	プロジェクトの提案、立上げ、計画策定、実行、監視コントロール、終結の全プロセスにおいて	プロジェクト全体の責任者として、ステークホルダーをマネジメントし、プロジェクトメンバをリード	計画された納入物やサービスの要求品質、コスト、納期	計画された納入物やサービスの要求品質、コスト、納期	計画されたソフトウェア製品の要求品質、コスト、納期	3回以上(内1回以上はレベル7、他はレベル6以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	国際的なプロジェクト(文化的、社会的並びに、国際的、政治的に厳しい環境) 世界的にも先進的なプロジェクト 複雑な移行要件 複雑な契約条件(要求品質、コスト、納期の厳しい制約条件等) 複雑なシステム構築要件(パフォーマンス、セキュリティ、稼働運用要件等) 複雑なシステムデザイン(マルチプラットフォーム、高可用性、新規製品や技術、インタフェースの数及び条件) 複雑なアプリケーション要件 複雑なプロジェクト体制(顧客、サブコントラクト、オフショア、協業関係、関係部門)	3項目以上	管理する要員数がピーク時500人以上または年間契約金額10億円以上	
6		2項目以上				管理する要員数がピーク時50人以上または年間契約金額5億円以上				
5		プロジェクト全体の責任者として、プロジェクトメンバをリード				3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	管理する要員数がピーク時10人以上50人未満または年間契約金額1億円以上5億円未満	
						4項目以上		管理する要員数がピーク時10人未満または年間契約金額1億円未満		
4		2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する				2項目以上		管理する要員数がピーク時10人未満または年間契約金額1億円未満		
3	1回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	いずれかの	特性せず							

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献)

プロフェッショナル貢献								
レベル	専門分野別主要テーマ				貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
	システム開発	ITアウトソーシング	ネットワークサービス	ソフトウェア製品開発		活動分野	必要条件数	
7	プロジェクト統合マネジメント プロジェクト・スコープ・マネジメント プロジェクト・タイム・マネジメント プロジェクト・コスト・マネジメント プロジェクト品質マネジメント プロジェクト人的資源マネジメント プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント プロジェクト・リスク・マネジメント プロジェクト調達マネジメント				他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界をリードしている	学会、委員会等 プロフェッショナル コミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	5項目以上	必須
6					他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している		4項目以上	必須
5					他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4					高度な専門性を保有し、後進を指導している		1項目以上	必須
3					専門性を保有し、独力で実践している		-	-

## B.6 ITスペシャリスト

## 達成度指標のレベル記述 (ビジネス貢献)

レベル	ビジネス貢献							
	責任性				複雑性		サイズ	
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	プロジェクトの 要員数(ピーク時)	ノード数(ネット ワーク専門分野) *
6	ソリューションの設計、 開発、運用、保守	各専門分野の設計、構築の 技術チーム責任者として、 他のITスペシャリスト をリード	顧客から要求されたシ ステム基盤の要件(性 能、回復性、可用性な ど)を成功裡に達成し た経験と実績	3回以上(内1回以上はレベル 6、他はレベル5以上の複雑 性、サイズ相当)	専門分野毎に規定	2項目以上	50人以上	300ノード以 上
5				3回以上(内1回以上はレベル 5、他はレベル4以上の複雑 性、サイズ相当)		4項目以上	10人以上50人 未満	100ノード以 上300ノード 未満
				2項目以上		10人以上50人 未満	100ノード以 上300ノード 未満	
4		各専門分野の設計、構築の 技術チームリーダーとして、 他のITスペシャリスト をリード		2回以上(内1回以上はレベル 4、他はレベル3以上の複雑 性、サイズ相当)		4項目以上	10人未満	100ノード未 満
		各専門分野の設計、構築の 技術チームメンバとして 独力で活動		1回以上(レベル3の複雑性、 サイズ相当)		2項目以上	10人未満	100ノード未 満
3		各専門分野の設計、構築の 技術チームメンバとして 独力で活動		1回以上(レベル3の複雑性、 サイズ相当)		2項目以上	特定せず	特定せず
2	システム基盤の設計、構 築の技術チームメンバと して、同一職種の上位者 の指導の下に活動	一連の活動局面にお いて、参画した経験	1回以上(レベル2の複雑性、 サイズ相当)	システム化対象範囲、機能 が限定されておりかつ単純 既知の実績のある技術を 使用	幾つか	特定せず	特定せず	
1	システム基盤の設計、構 築の技術チームメンバと して、同一職種の上位者 の指導の下に活動	いずれかの活動局面 において、参画した経 験	1回以上(レベル1の複雑性、 サイズ相当)	マルチベンダ製品の限定 的使用	幾つか	特定せず	特定せず	

注：\*：ノード数はクライアント及びHUBを除く

## 達成度指標のレベル記述 (プロフェッショナル貢献)

レベル	プロフェッショナル貢献						
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成	その他	
			活動分野	必要条件数			
6	専門分野毎に設定	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動	4項目以上	必須	-	
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	3項目以上	必須	-
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している			1項目以上	必須	-
3		専門性を保有し、独力で実践している	-	-	-	-	
2		プラットフォームシステム設計 サブシステム設計、導入 パフォーマンス管理 キャパシティ管理 導入、移行計画の策定、実施 問題管理 変更管理 回復管理 資源管理	基本的な知識と経験を保有する	-	-	-	-
1							

## 専門分野毎 複雑性要件及び専門分野別主要テーマ (レベル3 - 6)

	ビジネス貢献	プロフェッショナル貢献
専門分野	複雑度要件	専門分野別テーマ
プラットフォーム	システム化対象範囲、機能が広範囲でかつ複雑 クロスプラットフォーム間のデータベース連携を持つ 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 データ量が膨大で対応に高度な技術が必要 プロジェクト体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)が複雑であり調整が非常に困難	プラットフォームシステム設計 サブシステム設計、導入 パフォーマンス管理 キャパシティ管理 導入、移行計画の策定、実施 問題管理 変更管理 回復管理 資源管理
システム管理	複雑な運用方法、処理ロジック、タイミング、ファイル整合性などの特性を保持 サポート体制が充分でないため、有効な支援が期待できないパッケージの使用 古いアーキテクチャを継承している製品を使用しており、新旧のアーキテクチャが混在 クロスプラットフォーム間のデータベース連携を持つ 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 プロジェクト体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)が複雑であり調整が非常に困難	システム管理メソッドロジ パフォーマンス管理 問題管理 モニタリングツール ライブラリ管理 セキュリティ管理 変更管理 キャパシティ管理 アベイラビリティ管理 サービス水準管理 構成管理 ネットワーク管理
データベース	取り扱うデータ量が多く、データベースの構造も複雑 データベースやファイルの整合性確保方法や処理タイミングが複雑 先進的で、使用実績の少ないデータベース製品を使用 クロスプラットフォーム間のデータベース連携を持つ 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 プロジェクト体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)が複雑であり調整が非常に困難	データベース設計 品質評価 キャパシティ管理 テスト計画策定、実施 パフォーマンス管理 障害対応設計
ネットワーク	拠点数多く、ネットワークの構造も複雑 負荷分散、セキュリティ確保に高品質を要求 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 データ量が膨大で対応に高度な技術が必要 プロジェクト体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)が複雑であり調整が非常に困難	ネットワーク設計 アベイラビリティ管理 ネットワークシステム管理 ネットワークコンポーネント管理 ネットワークプロトコル ネットワーク管理 ネットワークセキュリティ
分散コンピューティング	拠点数多く、ネットワークの構造も複雑 データ量が膨大で対応に高度な技術が必要 複雑な運用方法、処理ロジック、タイミング、ファイル整合性などの特性を保持 古いアーキテクチャを継承している製品を使用しており、新旧のアーキテクチャが混在 ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 プロジェクト体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)が複雑であり調整が非常に困難	ネットワーク構築 インターネットソリューション 分散コンピューティングシステム設計 データセキュリティ データベース設計 エンドユーザインタフェース設計
セキュリティ	インターネットとの接続されており、外部からの脅威にさらされる危険性が大 複雑、高度なアクセスコントロール要求 高度のプライバシー要求 セキュリティ上の脆弱性が企業に多大な損害を与えるシステム 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 プロジェクト体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)が複雑であり調整が非常に困難	WEBアプリケーション データセキュリティ ネットワークセキュリティ セキュリティ管理 複雑、高度な物理的セキュリティ要求 高度の機密性要求



## 達成度指標のレベル記述 (プロフェッショナル貢献)

レベル	プロフェッショナル貢献				
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
6	専門分野毎に設定	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している	学会、委員会等プロフェッショナル コミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している。		1項目以上	必須
3		専門性を保有し、独力で実践している。		-	-
2		プラットフォームシステム設計 サブシステム設計、導入 パフォーマンス管理 キャパシティ管理 導入、移行計画の策定、実施 問題管理 変更管理 回復 管理 資源管理	基本的な知識、経験を有する	-	-
1					

## B.7 アプリケーションスペシャリスト

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献)

レベル	ビジネス貢献(1は専門分野「業務システム」、2は専門分野「業務パッケージ」のみの適用)						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	開発チームのピーク時要員数
6	〔業務パッケージを活用した〕(2)アプリケーションの開発、設計、構築、導入、テスト及び保守における	開発チーム責任者として、開発チームをリードし、業務開発全局面に責任を持つ。	顧客の環境に最適な品質(機能性、回復性、利便性等)を満足するアプリケーションの設計、開発及び導入を	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。	複雑な業務要件が多岐に亘り存在し、幾つかの特殊な業務要件が含まれる 先進的で使用実績の少ないテクノロジーを使用(1) 先進的で使用実績の少ないパッケージ(2) 複数のシステム形態が共存(トランザクション処理、クライアントサーバ、Web等) ミッションクリティカルなシステムであり高品質を要求 各業種代表的、業種横断的又は国内有数規模のシステム クロスプラットフォームでのアプリケーション 24時間365日の連続稼働が要求され、変更、保守、障害回復に高度な設計が必要 限られた期間内で要求される業務形態の変更度合いが大きい	2項目以上	50人以上
5			担当するアプリケーションの成果物に責任を持ち、	3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。		4項目以上	10人以上50人未満
4		開発チームリーダーとして、業務開発全局面において、	担当するアプリケーションの成果物に責任を持ち、	プロジェクトを2回以上(内1回以上はレベル4、他はレベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。	4項目以上	3人以上	
3		〔業務パッケージを活用した〕(2)アプリケーションの開発、設計、構築、導入、テスト及び保守において、	既存の作業標準やガイダンスに従い、開発チームメンバーとして、	担当する成果物の実施責任を持ち、	プロジェクトに1回以上(レベル3の複雑性、サイズ相当)参画した経験を有する。	2項目以上	2項目以上
2	同一職種の上位者の指示の下、あるいは既存の作業標準やガイダンスに従い、開発チームメンバーとして設計、開発、導入の一連の局面に			1回以上(レベル2の複雑性、サイズ相当)参画した経験を有する。	システム化対象範囲、機能が限定されており、かつ業務要件が単純 単一プラットフォーム 単一システム形態(トランザクション処理、クライアントサーバ、Web等) 既知の実績のある技術を使用	幾つかの	サイズは問わない
1	同一職種の上位者の指示の下、あるいは既存の作業標準やガイダンスに従い、開発チームメンバーとして開発、導入のいずれかの局面に			1回以上(レベル1の複雑性、サイズ相当)参画した経験を有する。	複雑性、サイズは問わない		

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献)

レベル	プロフェッショナル貢献					
	専門分野別主要テーマ		貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
	業務システム	業務パッケージ		活動分野	必要条件数	
6	アプリケーション開発領域における技術要素(ツール、標準、メソドロジ等) アプリケーション部分のコスト、スケジュール、リスクのアクセスメント	業務パッケージを活用したアプリケーション開発領域における技術要素(ツール、標準、メソドロジ等) 業務パッケージを活用したアプリケーション部分のコスト、スケジュール、リスクのアクセスメント	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している。	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載	4項目以上	必須
5	アプリケーション部分のコスト、スケジュール、リスクの管理	業務パッケージを活用したアプリケーション部分のコスト、スケジュール、リスクの管理	他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している。	社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	3項目以上	必須
4	アプリケーション部分のコスト、スケジュール、リスクの管理	業務パッケージを活用したアプリケーション部分のコスト、スケジュール、リスクの管理	高度な専門性を保有し、後進を指導している。		1項目以上	必須
3	アプリケーションの設計、開発、導入	業務パッケージを活用したアプリケーションの設計、開発、導入、カスタマイズ	専門性を保有し、独力で実践している。	-	-	-
2	データベースモデリング、データベースデザイン パフォーマンスチューニング 各種ツール(ADツール、ライブラリ管理ツール)	主要開発手法 テスト技法 プログラミング言語	アプリケーション領域について基本的な知識と経験を有する	-	-	-
1	主要開発手法 テスト技法 各種ツール(ADツール、ライブラリ管理ツール) プログラミング言語			-	-	-

## B.8 ソフトウェア開発

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献)

レベル	ビジネス貢献(〇〇部は専門分野毎に次の名称が入る。専門分野「基本ソフト」「基本」「ミドルソフト」「ミドル」「応用ソフト」「応用」)							
	責任性				複雑性		サイズ	
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	開発チームの規模	
6	〇〇ソフトウェアに関する企画、設計、開発、カスタマイズ及び技術支援を行う	製品の開発責任者として、開発チームをリードし、開発の全工程に対する責任を持つ。	設定した品質(機能性、信頼性等)の目標を満足する〇〇ソフト製品開発を	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。	全機能要件の実装、ハードウェア、OS性能の最大限の活用(「基本ソフト」「応用ソフト」のみ) 全機能要件の実装、基本ソフト性能の最大限の活用(「ミドルソフト」のみ) 複数の開発拠点に分散した開発の推進 企業の基幹システムとして利用可能な高い運用性、堅牢性、信頼性の実現 500以上のインタフェース	2項目以上	管理する要員数がピーク時15名以上、かつ開発期間1年以上	
5				3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。	全機能要件の実装、ハードウェア、OS性能の最大限の活用(「基本ソフト」「応用ソフト」のみ) 全機能要件の実装、基本ソフト性能の最大限の活用(「ミドルソフト」のみ) 複数の開発拠点に分散した開発の推進 企業の基幹システムとして利用可能な高い運用性、堅牢性、信頼性の実現 100~500程度のインタフェース	2項目以上	管理する要員数がピーク時5名以上15名未満、かつ開発期間6ヶ月以上1年未満	
4		製品の開発チームリーダーとして、開発担当部分に関する責任を持つ。		2回以上(内1回以上はレベル4、他はレベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。	機能要件とハードウェア、OS等の性能のバランスを考えた実装(「基本ソフト」「応用ソフト」のみ) 機能要件と基本ソフト等の性能のバランスを考えた実装(「ミドルソフト」のみ)	2項目以上	-	参画する要員数がピーク時5名以上15名未満、かつ開発期間6ヶ月未満
3		製品の開発チームメンバーとして、開発担当部分に関する責任を持つ。		1回以上(レベル3の複雑性、サイズ相当)成功裡に達成した経験と実績を有する。	単一開発拠点での開発の推進 高度な運用性、堅牢性、信頼性の要件 100未満のインタフェース			サイズは問わない
2	同一職種の上位者の指導の下、あるいは既存の作業標準やガイダンスに従い、	ソフト製品の開発チームメンバーとして、開発担当部分に関する責任を持ち、	ソフト製品開発の設計、開発の一連の局面に	1回以上(レベル2の複雑性、サイズ相当)参画した経験と実績を有する。	複雑性は問わない	-	サイズは問わない	
1			ソフト製品開発の設計、開発のいずれかの局面に	1回以上(レベル1の複雑性、サイズ相当)参画した経験と実績を有する。				

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献)

レベル	プロフェッショナル貢献				
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
6	製品に関連するビジネス戦略の立案 ソフトウェア製品の企画、設計、開発、カスタマイズ及び技術支援 設定した出荷時期までのソフトウェア製品の品質(機能性、信頼性等)の確保	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している。	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している。		3項目以上	必須
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している。		1項目以上	必須
3	ソフトウェア製品の開発、カスタマイズ及び技術支援 設定した出荷時期までの完成 出荷基準を満たす品質(機能性、信頼性等)の確保	専門性を保有し、独力で実践している。	-	-	-
2	プログラミング言語 テスト技法 各種ツール(AD ツール、ライブラリ管理ツール)	ソフトウェア製品開発領域について基本的な知識と経験を有する	-	-	-
1	プログラミング言語 テスト技法 各種ツール(AD ツール、ライブラリ管理ツール)	ソフトウェア製品開発領域について基本的な知識と経験を有する	-	-	-

## B.9 カスタマサービス

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「ハードウェア」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
5	開発および運用、保守の局面における	ハードウェアサービス責任者として他のカスタマサービス職種をリードする	IT主要コンポーネント(汎用プロセッサ、中型プロセッサ、PC、ストレージ、ネットワーク等)の内、主たる担当領域を1つ有し、システムの使用性、保守容易性等を満足するハードウェアの導入、維持、保守活動	3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	クロスプラットフォームで稼動するシステム マルチベンダシステム環境	2項目以上	広域地域全体、特定インダストリ全体又はそれらに相当するユーザを担当
			ハードウェアサービス責任者として	IT主要コンポーネント(汎用プロセッサ、中型プロセッサ、PC、ストレージ、ネットワーク等)の内、専門領域を1つ担当し、システムの使用性、保守容易性等を満足するハードウェアの導入、維持、保守活動		2回以上(内1回以上はレベル4、他はレベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	4項目以上
4	-	ハードウェアサービスチームメンバとして、担当する領域の実施責任を持ち		IT主要コンポーネント(汎用プロセッサ、中型プロセッサ、PC、ストレージ、ネットワーク等)の内、いずれかのサービス活動に参画し、ハードウェアの導入、維持、保守活動	1回以上(レベル3の複雑性、サイズ相当)実施した経験と実績を有する	先進的で、全く新しい或いは使用実績の少ないテクノロジーを使用 ミッションクリティカルなシステム 24時間365日の連続稼動が要求され、変更、保守、障害回復に専門性が必要 全国規模のシステム(ネットワーク、分散拠点)	2項目以上
			4項目以上	特定ユーザに対するサービスチームを担当			
3	-	ハードウェアサービスチームメンバとして、担当する領域の実施責任を持ち	IT主要コンポーネント(汎用プロセッサ、中型プロセッサ、PC、ストレージ、ネットワーク等)の内、いずれかのサービス活動に参画し、ハードウェアの導入、維持、保守活動	1回以上(レベル3の複雑性、サイズ相当)実施した経験と実績を有する	全国規模のシステム(ネットワーク、分散拠点)	2項目以上	特定サービスチームのメンバとして特定ユーザに対するサービス活動に参画

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「ソフトウェア」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
5	開発および運用、保守の局面における	ソフトウェアサービス責任者として他のカスタマサービス職種をリードする	IT主要コンポーネント(オペレーティングシステム、データベース、ミドルウェア、アプリケーションソフト等)の内、主たる担当領域を1つ有し、システムの使用性、保守容易性等を満足するソフトウェアの導入、維持、保守活動	3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	クロスプラットフォームで稼動するシステム マルチベンダシステム環境 先進的で、全く新しい或いは使用実績の少ないテクノロジーを使用 ミッションクリティカルなシステム 24時間365日の連続稼動が要求され、変更、保守、障害回復に専門性が必要	2項目以上	広域地域全体、特定インダストリ全体又はそれらに相当するユーザを担当
			ソフトウェアサービス責任者として	IT主要コンポーネント(オペレーティングシステム、データベース、ミドルウェア、アプリケーションソフト等)の内、専門領域を1つ担当し、システムの使用性、保守容易性等を満足するソフトウェアの導入、維持、保守活動		2回以上(内1回以上はレベル4、他はレベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	4項目以上
4		ソフトウェアサービスチームメンバとして、担当する領域の実施責任を持ち	IT主要コンポーネント(オペレーティングシステム、データベース、ミドルウェア、アプリケーションソフト等)の内、いずれかのサービス活動に参画し、ソフトウェアの導入、維持、保守活動	1回以上(レベル3の複雑性、サイズ相当)実施した経験と実績を有する	全国規模のシステム(ネットワーク、分散拠点)	2項目以上	広域地域、特定インダストリを構成するサービスチームを担当 特定ユーザに対するサービスチームを担当
3	-					2項目以上	特定サービスチームのメンバとして特定ユーザに対するサービス活動に参画

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「ハードウェア、ソフトウェア共通」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
2	-	同一職種の上位者の指導の下、カスタマサービスチームメンバとして	担当するシステムの導入、維持、保守活動	1回以上(レベル2の複雑性)実施した経験と実績を有する。	シングルプラットフォーム環境 障害影響度の比較的小さいシステム	幾つかに相当する	サイズは問わない
1	-		担当するシステムの導入、維持、保守活動	1回以上(レベル1の複雑性)実施した経験と実績を有する。	計画停止を比較的容易に計画できるシステム		

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「ファシリティマネジメント」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
6	開発および運用、保守の局面における	ファシリティマネジメントサービス責任者として他のカスタマサービス職種をリードする	施設インフラの使用性、保守容易性等を満足するIT関連ファシリティの設計、構築、管理、保全活動	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	ミッションクリティカルなシステムの付帯設備 24時間365日の連続稼働が要求され変更、保守、障害回復に専門性が必要 拠点数が多く、ネットワークの構造も複雑 複雑な要件に基づく防災、防犯対策	2項目以上	5箇所以上または5,000㎡以上のコンピュータールームの付帯設備管理、運営、または300拠点以上の大規模ネットワーク付帯設備管理、運営
5				3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	3~4箇所または2,000㎡以上5,000㎡未満のコンピュータールームの付帯設備管理、運営、または100拠点以上300拠点未満の中規模ネットワーク付帯設備管理、運営
4				2回以上(内1回以上はレベル4、他はレベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		3項目以上	2箇所以下または2,000㎡未満のコンピュータールームの付帯設備管理、運営、または100拠点未満の小規模ネットワーク付帯設備管理、運営
3	-	ファシリティマネジメントサービスチームメンバーとして、担当する領域の実施責任を持ち	IT関連ファシリティの設計、構築、管理、保全プロジェクト	1回以上(レベル3の複雑性、サイズ相当)実施した経験と実績を有する		2項目以上	業務に係る一部のコンピュータールーム及びネットワークの付帯設備管理、運営



## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「ハードウェア」

レベル	プロフェッショナル貢献				
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
5	IT主要コンポネント全般 システム運用管理、ハードウェア製品テクノロジー ユーザのシステム運用管理方針、製品選定、導入計画策定 サービスチーム全体の要員計画管理、収益性管理 顧客満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している。	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	3項目以上	必須
4	システム運用管理、ハードウェア製品テクノロジー ユーザのシステム運用管理方針、製品選定、導入計画策定 担当チームにおける収益性管理 顧客満足度の獲得	高度な専門性を保有し、後進を指導している。		1項目以上	必須
3	システム運用管理、ハードウェア製品テクノロジーに関する基本的知識 ユーザから見たハードウェア、システム運用に関する一次技術窓口 ユーザニーズに則した計画、手法の助言	専門性を保有し、独力で実践している。	-	-	-

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「ソフトウェア」

レベル	プロフェッショナル貢献				
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
5	IT主要コンポネント全般 ソフトウェア障害診断、ソフトウェア製品テクノロジー 担当領域におけるソフトウェアサービス、技術支援の戦略、計画立案 サービスチーム全体の要員計画管理、収益性管理 顧客満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している。	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載	3項目以上	必須
4	ソフトウェア障害診断、ソフトウェア製品テクノロジー ユーザ要件に応じた適切な対策の計画立案 担当チーム内での体制整備 顧客満足度の獲得	高度な専門性を保有し、後進を指導している。	社外講師 社内講師 特許出願	1項目以上	必須
3	ソフトウェア障害診断、ソフトウェア製品テクノロジー ユーザから見たソフトウェアサポートに関する一次技術窓口 ユーザニーズに則した計画、手法の助言	専門性を保有し、独力で実践している。	-	-	-

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「ハードウェア、ソフトウェア共通」

レベル	プロフェッショナル貢献				
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
2	システム導入、維持、保守活動 システム運用管理	基本的な知識と経験を有する	-	-	-
1	ハードウェア製品 ソフトウェア製品		-	-	-

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「ファシリティマネジメント」

レベル	プロフェッショナル貢献				
	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
6	ファシリティマネジメント、建築、電気、機械、情報配線等 施設戦略、施設中長期計画立案 サービスチーム全体の要員計画管理、収益性管理 顧客満足度の獲得	他を指導することができる 高度な専門性を保有し、業界 に貢献している	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	4項目以上	必須
5	ファシリティマネジメント、建築、電気、機械、情報配線等 担当領域における施設戦略、施設中長期計画立案 担当サービスチームの要員計画管理、収益性管理 顧客満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している。		3項目以上	必須
4	ファシリティマネジメント、建築、電気、機械、情報配線等 担当サービスチームの要員計画、収益性把握 顧客満足度の獲得	高度な専門性を保有し、後進を指導している。		1項目以上	必須
3	ファシリティマネジメント、建築、電気、機械、情報配線等に関する基本的知識 ユーザニーズに則した計画、手法の助言	専門性を保有し、独力で実践している。	-	-	-

## B.10 オペレーション

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「システムオペレーション」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要 条件数	
5	システムオペレーションの計画、実施の局面において、	責任者としてメンバをリードする。	顧客と合意したサービスレベルを管理し、システム運用管理における顧客満足度、安全性、効率性を維持しつつ、	予算内でのサービス提供を成功裡(レベル5以上の複雑性、サイズ相当)に達成した経験と実績を有する。	システム運用要件の複雑性(パフォーマンス要件、セキュリティ要件、技術的要件、稼働運用要件) 運用システムの複雑性(マルチプラットフォーム、マルチベンダ、高可用性) アプリケーション要件の複雑性(パフォーマンス、障害対策、セキュリティ、運用及び保守の要求レベルが高い) 体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門) 複雑な契約条件または完了条件	2項目以上	管理する要員数がピーク時10人以上、または年間契約金額1億円以上
4				予算内でのサービス提供を成功裡(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)に達成した経験と実績を有する。		2項目以上	管理する要員数がピーク時10人未満、または年間契約金額1億円未満
3	システムオペレーションのメンバとして、		指定された管理体制と管理手順書等に従い、	サービス計画に基づいたシステムオペレーション(レベル3の複雑性、サイズ相当)を成功裡に達成した経験と実績を有する。	システム運用要件の複雑性(パフォーマンス要件、セキュリティ要件、技術的要件、稼働運用要件) 運用システムの複雑性(マルチプラットフォーム、マルチベンダ、高可用性) アプリケーション要件の複雑性(パフォーマンス、障害対策、セキュリティ、運用及び保守の要件) 体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門) 複雑な契約条件または完了条件	2項目以上	特定せず
2	同一職種における上位者の管理の下、オペレーションのメンバとして、			オペレーション業務(レベル2の複雑性、サイズ相当)を実施した経験と実績を有する。	複雑性は問わない	-	特定せず
1	同一職種における上位者の指導の下、オペレーションのメンバとして、			オペレーション業務(レベル1の複雑性、サイズ相当)に参画した経験と実績を有する。			

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「ネットワークオペレーション」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
5	ネットワークオペレーションの計画、実施の局面において、	責任者としてメンバをリードする。	顧客と合意したサービスレベルを管理し、ネットワーク運用管理における顧客満足度、安全性、効率性を維持しつつ、	予算内でのサービス提供を成功裡(レベル5以上の複雑性、サイズ相当)に達成した経験と実績を有する。	アプリケーション要件の複雑性(パフォーマンス、障害対策、セキュリティ、運用及び保守の要求レベルが高い) ネットワーク要件の複雑性(パフォーマンス要件、セキュリティ要件、技術的要件、稼働運用要件、マルチプロトコル)体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門) 複雑な契約条件または完了条件	2項目以上	管理する要員数がピーク時10人以上、または年間契約金額が1億円以上、または100拠点以上の中規模以上のネットワークオペレーション
				予算内でのサービス提供を成功裡(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)に達成した経験と実績を有する。			4項目以上
4						2項目以上	管理する要員数がピーク時10人未満、または年間契約金額が1億円未満、または100拠点未満の小規模ネットワークオペレーション
3	ネットワークオペレーションのメンバとして、		指定された管理体制と管理手順書等に従い、	サービス計画に基づいたネットワークオペレーション(レベル3の複雑性、サイズ相当)を成功裡に達成した経験と実績を有する。	アプリケーション要件の複雑性(パフォーマンス、障害対策、セキュリティ、運用及び保守の要件) ネットワーク要件の複雑性(パフォーマンス要件、セキュリティ要件、技術的要件、稼働運用要件、マルチプロトコル)体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門)	2項目以上	特定せず
2	同一職種における上位者の管理の下、	オペレーションのメンバとして、	オペレーション業務(レベル2の複雑性、サイズ相当)を実施した経験と実績を有する。		複雑性は問わない	-	特定せず
1			オペレーション業務(レベル1の複雑性、サイズ相当)に参画した経験と実績を有する。				

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「サービスデスク」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
5	サービスデスクの計画、実施の局面において、	責任者としてメンバをリードする。	顧客と合意したサービスレベルを管理し、サービスデスクにおける顧客満足度、効率性を維持しつつ、	予算内でのサービス提供を成功裡(レベル5以上の複雑性、サイズ相当)に達成した経験と実績を有する。	サポート対象システムの複雑性(マルチプラットフォーム、マルチベンダ、高いパフォーマンス要件、高度なセキュリティ要件、高度な技術的要件等) ネットワーク要件の複雑性(マルチプロトコル、高いパフォーマンス要件、高度なセキュリティ要件、高度な技術的要件等) アプリケーション要件の複雑性(高いパフォーマンス要件、高度なセキュリティ要件、高度な技術的要件等) 体制(サブコントラクト、複雑な協業関係、複数の関係部門) 複雑な契約条件または完了条件	2項目以上	管理するピーク時の要員数が20人以上、または年間サービスデスク契約金額が1億5千万円以上、または対応するユーザ数が年間3千人以上
4				予算内でのサービス提供を成功裡(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)に達成した経験と実績を有する。		4項目以上	レベル4のサイズ条件
3	サービスデスクのメンバとして、		指定された管理体制と管理手順書等に従い、	サービス計画に基づいたサービスデスク(レベル3の複雑性、サイズ相当)を成功裡に達成した経験と実績を有する。	サポート対象システムの複雑性(マルチプラットフォーム、マルチベンダ、パフォーマンス要件、セキュリティ要件、技術的要件等) ネットワーク要件の複雑性(マルチプロトコル、パフォーマンス要件、セキュリティ要件、技術的要件等) アプリケーション要件の複雑性(パフォーマンス、障害対策、セキュリティ、運用及び保守の要件)	2項目以上	特定せず
2	同一職種における上位者の管理の下、	オペレーションのメンバとして、	オペレーション業務(レベル2の複雑性、サイズ相当)を実施した経験と実績を有する。	複雑性は問わない			特定せず
1			オペレーション業務(レベル1の複雑性、サイズ相当)に参画した経験と実績を有する。				

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献)

レベル	プロフェッショナル貢献						
	専門分野別主要テーマ			貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
	システムオペレーション	ネットワーク オペレーション	サービスデスク		活動分野	必要条件数	
5	サービスレベル管理 システム運用管理 ストレスマネジメント 情報資産管理	サービスレベル管理 ネットワーク運用管理 ストレスマネジメント 情報資産管理	ストレスマネジメント 顧客満足度の獲得 サブコントラクト管理 契約管理	他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している。	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	3項目以上	必須
4				高度な専門性を保有し、後進を指導している。		1項目以上	必須
3				サービスレベル管理 ネットワーク運用管理 ストレスマネジメント	ストレスマネジメント 顧客満足度の獲得 サブコントラクト管理	専門性を保有し、独力で実践している。	-
2	サービス支援管理 システム運用管理 情報資産管理			オペレーション領域について基本的な知識と経験を有する	-	-	-
1							

## B.11 エデュケーション

達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「研修企画」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績回数	複雑性要件	必要条件数	
6	研修講座の企画、設計、開発、提供、評価の局面における	全体の責任者	他のエデュケーション職種をリードし、設定された研修講座の顧客満足度、実用性、採算性	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	研修の重要度が高い 使用実績のない研修プラットフォームの使用 高度な知識、経験を必要 実績の少ないラーニングアーキテクチャを使用 先進的な領域 複雑な組織構成の基での企画、設計、開発 先進的な研修ソリューションを利用	2項目以上	講座数5講座以上
				3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		4項目以上	講座数3講座以上
5	研修講座または複数講座に跨る研修コースの企画、設計、開発、提供、評価の局面における	リーダー	設定された研修講座または複数講座に跨る研修コースの顧客満足度、実用性、採算性	2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上	2項目以上	講座数3講座以上
				2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		4項目以上	講座数1講座以上または複数講座に跨る研修コース5コース以上
4	研修講座または複数講座に跨る研修コースの企画、設計、開発、提供、評価の局面における	リーダー	設定された研修講座または複数講座に跨る研修コースの顧客満足度、実用性、採算性	2回以上(レベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	2項目以上	2項目以上	講座数1講座以上または複数講座に跨る研修コース5コース以上



## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「研修企画」

プロフェッショナル貢献					
レベル	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
6	豊富な知識と経験に基づく高度な研修講座の企画、設計、開発 研修プラン対象の熟知、最適解の選択、複雑、高度な研修講座作成までの責任 期待される資源と期間内での業務遂行、および担当する複雑、高度な研修講座作成プロジェクトの管理 担当講座の収益性管理 受講者満足度の獲得	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ活動	4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している	著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師	3項目以上	必須
4		豊富な知識と経験に基づく高度な研修講座の企画、設計、開発 研修プラン対象の熟知、最適解の選択、複雑、高度な研修講座作成までの責任 期待される資源と期間内での業務遂行、および担当する複雑、高度な研修講座作成プロジェクトの管理 担当講座の収益諸元の把握 受講者満足度の獲得	高度な専門性を保有し、後進を指導している	社内講師 特許出願	1項目以上

## 達成度指標のレベル記述の違い(ビジネス貢献) 専門分野「インストラクション」

レベル	ビジネス貢献						
	責任性				複雑性		サイズ
	活動局面	役割・責任範囲	品質条件	実績内容	複雑性要件	必要条件数	
6	研修講座の設計、開発、運営、評価の局面における	開発、実施運営、評価全体の責任者	他のエデュケーション職種をリードし、設定された研修講座の顧客満足度、実用性、生産性	3回以上(内1回以上はレベル6、他はレベル5以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	研修講座数5講座以上
				3回以上(内1回以上はレベル5、他はレベル4以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		4項目以上	研修講座数3講座以上
5	研修講座または複数講座に跨る研修コースの設計、開発、運営、評価の局面における	開発、実施運営、評価のリーダー	設定された研修講座または複数講座に跨る研修コースの顧客満足度、実用性、生産性	2回以上(内1回以上はレベル4、他はレベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する	研修の重要度が高い 使用実績のない研修プラットフォームの使用 高度な知識、経験を必要 先進的な教授法 先進的な領域 先進的な研修手法 先進的な研修ソリューションを利用	2項目以上	研修講座数3講座以上
				1回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		4項目以上	講座数1講座以上または複数講座に跨る研修コース5コース以上
4	研修講座または複数講座に跨る研修コースの設計、開発、運営、評価の局面における	開発、実施運営、評価のメンバ	設定された研修コースの顧客満足度、実用性、生産性を	1回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		2項目以上	講座数1講座以上または複数講座に跨る研修コース5コース以上
3	研修コースの設計、開発、運営、評価の局面における	開発、実施運営、評価のメンバ	設定された研修コースの顧客満足度、実用性、生産性を	1回以上(レベル3以上の複雑性、サイズ相当)成功裡に遂行した経験と実績を有する		いずれかの	サイズは問わない

## 達成度指標のレベル記述の違い(プロフェッショナル貢献) 専門分野「インストラクション」

プロフェッショナル貢献					
レベル	専門分野別主要テーマ	貢献度合い	技術の継承に対する実績度		後進の育成
			活動分野	必要条件数	
6	インストラクションおよびコーチングにおける方法論に熟知し、効果的、効率的に複雑、高度な研修を実施  受講者満足度の獲得  教授法  研修手法	他を指導することができる高度な専門性を保有し、業界に貢献している	学会、委員会等プロフェッショナルコミュニティ 活動 著書 社外論文掲載 社内論文掲載 社外講師 社内講師 特許出願	4項目以上	必須
5		他を指導することができる高度な専門性を保有し、社内に貢献している		3項目以上	必須
4		高度な専門性を保有し、後進を指導している		1項目以上	必須
3		専門性を保有し、独力で実践している		-	-

ITスキル標準V2 2部:キャリア編

平成18年4月1日発行

---

発行者 独立行政法人 情報処理推進機構 ITスキル標準センター

〒113-8663 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコートセンターオフィス16階

電話 03(5978)7544

FAX 03(5978)7516

E-Mail [itss-info@ipa.go.jp](mailto:itss-info@ipa.go.jp)

ホームページ <http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/index.html>

---

©2006 経済産業省, 独立行政法人 情報処理推進機構